

令和 6 年 度

事業報告書

公益財団法人
新潟県保健衛生センター

令和6年度 事業報告書

1 事業総括

(1) 概 況

令和6年度は、人口減少や少子化などの影響を受けて、母子保健、学校保健、地域保健の分野において事業量の減少が続いている。また、職域健診においては、他健診機関との受注競争や他の健診施設の新設等による影響は続いているが、新規で受託した健診事業により、前年度より受診者数は増加した。

減少している事業がある一方で新規で獲得した事業もあり、事業全体では前年度並みを維持している。

ア 当財団の主要な事業である地域保健は、前年度との比較では特定健康診査は実施数がやや減少した。結核・各種がん検診については、結核・肺がん検診、大腸がん検診は前年度をやや上回ったが、胃がん検診は、前年度よりやや減少した。子宮がん検診、乳がん検診は、受診間隔の関係で受診者数が少ない年にあたり、前年度に比べそれぞれ 86.5%、88.0%の実施率であった。

イ 新潟県内の出生数に連動している母子保健の先天性代謝異常検査は、11,091 件を実施し、前年度比較で 92.3%の実施率であった。任意で実施している「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は、その約 8 割が希望し、8,818 件実施した。

学校保健の尿検査は前年度比 98.6%、心臓検診は前年度比 97.7%であった。受託している学校数に変更はないため、児童・生徒数の自然減によるものと考えられ、少子化の影響は大きい。

ウ 職域健診では、健診機関同士の受注競争や健診施設の新設により、人間ドックを含む施設健診、巡回健診ともに影響を受けているが、新規で獲得した新潟市職員、新潟市消防局職員、加茂市職員の定期健康診断の実施により全体としては前年度を上回る実施率であった。また、職域のがん検診においては、子宮がん検診が若干前年度を下回ったものの他のがん検診は前年度を上回る実施率であった。

エ 健康支援事業では、住民対象の特定保健指導を、小千谷市、田上町、見附市、三条市で実施しており、三条市が対象年齢を拡大したことにより、実施数は前年度より増加している。

職域での特定保健指導は、前年度同様、一部の事業所での分割実施や各健康保険組合の働きかけなどにより増加している。

当財団の経営においては、検査収益は人口減少や少子化の影響により年々減少しており、前年度比約 290 万円の減収であった。健診収益では、地域のがん検診、特に子宮がん検診・乳がん検診の減少は大きいものの、新たに受託した事業所健診などにより約 4,000 万円の増収となり、経常収益全体としては、前年度より約 3,100 万円の増収となった。

経常費用では、赤字決算となった令和 5 年度の経営状況を踏まえ、役員報酬や管理職手当の減額、賞与支給率の見直し等による人件費の削減や設備投資の抑制など経費節減に努めたことから、前年度に比べ約 2,800 万円の減少となった。

その結果、当期経常収支は、約 760 万円の黒字決算となり、当初、予想した落ち込みを回避することができた。

（２）公益目的事業の内容と成果

当法人は、定款において公益目的を達成するための事業として 7 つの公益目的事業を掲げている。令和 6 年度において、それぞれの事業の概況と成果は、次のとおりである。

ア 健康増進、生活習慣病予防及び早期発見のための（地域）健診事業

市町村の住民を対象に実施される、公費負担による対策型の「地域（住民）健診」は、県民の健康の保持増進を第一の目標に掲げる当財団の主要事業である。

長岡市、小千谷市、見附市、三条市など中越・県央地域を中心に、住民の特定健診を実施しているが、特定健診の受診者数は、前年度よりやや減少した。

住民の結核・各種がん検診については、結核・肺がん検診、大腸がん検診は前年度をやや上回ったが、胃がん検診が前年度よりやや減少した。また、子宮がん検診、乳がん検診は、受診間隔の関係で受診者が少ない年にあたり、それぞれ 86.5%、88.0%の実施率であった。

イ 働く人の健康管理業務全般にわたる支援活動業務

この事業は、労働安全衛生法に基づき事業所等が従業員に対して実施する定期健康診断や特殊健診、これと同時に実施する職域の各種がん検診などである。

当財団の職域健診では、行政・教育機関の職場の占める割合が大きく、毎年度実施される競争入札の結果に影響されるが、令和6年度は新潟市職員健診など新たに受託した事業があり、巡回健診、施設健診ともに前年度を上回った。

人間ドックの受診者は、近隣に新設された健診施設の影響等により、年々減少傾向が続いており、前年度比較で99.4%の実施率であった。

ウ 母子保健、学校保健分野における検査事業

母子保健における新生児先天性代謝異常検査は、新潟県及び新潟市から委託を受け県内で唯一、当財団のみが実施している事業である。県内の出生数の推移に連動して年々減少しており、今年度は11,091件を実施し、前年度比較で92.3%の実施率であった。

任意で実施している「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は、その約8割が希望しており、今年度は、8,891件実施し、前年度比99.2%であった。

学校保健のうち、児童・生徒の心臓検診は、市町村小・中学校及び高校生を対象に33,585件実施した。また、新潟市や長岡市の教育委員会及び医師会との連携のもとに、小児腎臓病や小児糖尿病の早期発見のための尿検査（143,138件）を担っており、今後とも、この分野における指導的機関としての役割を果たしていく。

エ 検査・健診の結果データの分析評価を地域社会に還元する事業

当財団は、県内唯一の公益財団法人認定を受けた健診機関として、地元医師会や市町村等と連携しながら、健診・検査業務の精度の向上を図るとともに、その結果を疾病の早期発見や予防活動に活かし、地域保健活動の充実を目指している。

今年度は、健診・検査の結果を統計的に分析した「令和5年度版事業年報」を編集発行した。また、県内で胸部疾患に関わる医師を対象にした「読影医師研修会」を医師会と連携して開催し、引き続き県内医師の読影技能の向上に努める。

オ 予防医学思想の普及、健康増進啓発に向けた健康づくりへの支援事業

この事業は、公益目的事業の目玉の一つとして、健康診断後における保健指導や一般市民を対象にした健康教育、糖尿病等の予防啓発を行うことにより、広く県民の健康づくりを支援していくことを目的にしている。

新潟日報メディアシップの日報ホールで開催した、令和6年度の「第20回市民健康講座」は、134名の参加があった。

また、メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施した。

カ 感染症予防に関する知識の普及啓発並びに予防事業

この事業は、食品取扱関係者や福祉施設・医療関係者などに感染症予防の知識の普及、必要な検査を行うとともに、インフルエンザについては学校など集団感染が懸念される場所において集団の予防接種事業を行うものである。

インフルエンザの予防接種は、接種料金が安価な接種機関に移行した事業所等があり、接種数は減少傾向にあり、前年度比 92.9%の実施率であった。一方で、B型肝炎の予防接種は、これまで受託していた大学で接種対象とする学科が増えたことや新潟市消防局を新規で受託したことにより接種数は増加した。

キ 提携して業務を行う法人への協力事業

当財団は、結核予防会本部並びに予防医学事業中央会という、日本全体で保健活動を展開している二つの全国組織と提携し、それぞれの組織の新潟県支部として県民向けの啓発活動などの協力事業を実施している。特に、結核予防会複十字シール募金活動は、年間で約 200 万円の募金の実績があり、社会啓発活動に努めている。

以上のような公益目的事業を通して、県民が生涯にわたり心身ともに快適な生活を送ることができるよう、地域保健、職域保健、母子保健、学校保健、感染症予防、健康づくりなどの各分野における保健衛生活動を継続的・安定的に実施していくことが公益法人としての当財団に課せられた使命であると考えている。

2 個別事業の報告

当財団は、定款において定める公益目的事業の区分とは別に、公益財団法人への移行設立時において、事業全体を「検査事業」「健（検）診事業」「健康づくり事業」の3つの個別事業に大別している。この3事業の実績と課題は次のとおりである。

第1 検査事業

（1）母子保健

新潟県・新潟市より委託を受け実施している新生児マススクリーニング検査は、行政・新潟大学・県医師会（産科）の指導のもと、県内唯一の検査機関として引き続き高い精度を維持するよう努めている。

先天性代謝異常検査は、県内の出生数の推移に連動して毎年減少している。
希少疾患に対する付加新生児スクリーニングは、その約８割が検査している。

	当年度	前年度	前年度比%
先天性代謝異常検査	11,091	12,020	92.3
付加新生児 スクリーニング	8,818	8,891	99.2

(2) 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われている。県内各市の教育委員会や医師会との連携を密に検査を実施している。受託している学校数に変更はないが、少子化による児童・生徒数の減により実施数の減少が続いている。

貧血検査については、貧血検査を取り止めた市町村や対象学年を絞った学校があり、実施数は大きく減少した。

	当年度	前年度	前年度比%
尿検査（一次・二次）	143,138	145,143	98.6
（うち、腎臓病精密査）	314	260	
（うち、糖尿病精密査）	22	32	
貧血検査	6,258	7,521	83.2

(3) 感染症検査

感染症検査のうち、実施数が最も多い腸内細菌検査については、令和６年度は、30,707件で前年度比97.5%の実施率であった。

	当年度	前年度	前年度比%
腸内細菌検査	30,707	31,495	97.5
食品検査	535	552	96.9
QFT検査	819	673	121.7
HPV検査	61	38	160.5
血液検査（抗体）	7,057	6,027	117.1

(4) その他の検査

登録衛生検査所の業務の一環として、近隣の病医院からの婦人科細胞診を受託している。検体依頼数の減少により、病理検査の受託数は減少した。

	当年度	前年度	前年度比%
病理受託検査	3, 182	3, 317	95.9

第2 健(検)診事業

(1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、4～6月までの間に小・中・高校生対象の心臓(心電図)検診、高校1年生対象の結核(胸部レントゲン)検診及び大学や専門学校の学生対象の健康診断を行っている。

	当年度	前年度	前年度比%
結核検診 (胸部X線検査)	31, 277	31, 387	99.6
心臓検診	33, 585	34, 387	97.7
学生健診 (大・専門学生)	11, 784	11, 435	103.1

(2) 地域健診

県内各市町村が高齢者医療確保法や健康増進法などに基づいて実施している特定健康診査及び結核・各種がん検診について、当財団は、特定健診は中越・県央地域を中心に、結核・がん検診は上越地域を除く県内全域の事業を担当している。

特定健診は、前年度よりやや減少した。結核・各種がん検診では、結核・肺がん検診、大腸がん検診は前年をやや上回ったが、胃がん検診はやや減少した。乳がん・子宮がん検診は、受診者数が少ない年にあたり、前年度を大きく下回った。

	当年度		前年度	前年度比%
	市町村数	人数		
特定健診	6	32, 520	32, 721	99.4
結核検診 (65歳以上・39歳以下)	19	96, 095	93, 839	102.4

		当年度		前年度	前年度比%
		市町村数	人数		
地域がん検診	肺がん検診 (40歳以上)	19	117,183	117,036	100.1
	喀痰細胞診	11	981	1,004	97.7
	胃がん検診	7	13,703	13,848	99.0
	大腸がん検診	8	31,542	31,085	101.5
	乳がん検診	15	15,585	17,712	88.0
	子宮がん検診	11	10,368	11,980	86.5
	前立腺がん検診	6	4,332	4,316	100.4
骨検診		3	854	964	88.6

(3) 職域健診

労働安全衛生法に基づき事業所等が実施する定期健康診断は、行政・教育機関の職場の占める割合が大きく、毎年度の競争入札の結果に影響される。定期健康診断は、新潟市職員等を新規で受託したことにより、前年度を大きく上回り、巡回健診で 21,458 件、施設では 15,467 件実施した。

		当年度	前年度	前年度比%
定期健診	巡回	21,458	16,065	133.6
	施設	15,467	14,885	103.9
特殊健診		3,068	2,656	115.5
職域がん検診	胸部検診	41,095	38,546	106.6
	胃がん検診	13,592	12,510	108.6
	大腸がん検診	14,096	13,881	101.5
	乳がん検診	4,167	4,156	100.3
	子宮がん検診	4,583	4,589	99.9
	前立腺がん検診	1,694	1,519	111.5
事業所 骨検診		345	196	176.0

（４）人間ドック検診

成人病検診センターにおける人間ドックは、各種健康保険組合、公務員共済組合との受託契約に基づくもののほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）及び新潟市国保の検査項目に上乗せをして実施する併用の形態など、受診者のニーズにできる限り対応するようにしている。受診者数は１日平均して１５～２０人程度の少人数になっている。

	当年度	前年度	前年度比％
人間ドック	３，０２１	３，０３９	９９．４

第３ 健康づくり支援事業

（１）特定保健指導

高齢者医療確保法に基づく特定保健指導は、小千谷市、見附市、三条市、田上町からの委託による住民国保を対象にした出張の特定保健指導、及び人間ドック受診当日の検査結果に基づく指導などを実施している。

今年度は、三条市が対象年齢を拡大したことや各健康保険組合の働きかけなどにより実施数は大幅に増加した。

特定保健指導の区分	当年度	前年度	前年度比％
住民対象（市町村国保）	１９１	１４５	１３１．７
職域対象 （協会けんぽ、共済組合など）	２４７	２２２	１１１．３
健康げんき倶楽部における 特定保健指導	８	１７	４７．１

（２）ストレスチェック

労働安全衛生法により義務化されたストレスチェック検査は、近年ストレスチェックを専門に安価に請け負う業者が進出し、受託数は大幅に減少している。また、ストレス検査後の高ストレス者からの医師面接指導の申し出が減少する傾向にある。

ストレスチェック	当年度	前年度	前年度比％
ストレス検査	６，６９５	６，２６７	１０６．８
医師面談指導	１６	１８	８８．９

（３）生活習慣病予防事業

成人病検診センターに特殊（糖尿病・禁煙）外来を設置し、次のような予防事業を実施した。

ア 糖尿病予防事業

健診の結果を踏まえ、糖尿病または境界型糖尿病の疑いのある受診者を対象に、山田幸男医師の指導に基づき、糖尿病精密検査、糖尿病教室、フォローアップ外来を実施した。

イ 喫煙予防事業

令和２年６月より治療薬の出荷保留が続いており、禁煙外来は休止中である。

生活習慣病予防事業	当年度	前年度	前年度比％
糖尿病予防事業	１２９	１３３	９７．０
喫煙予防事業	０	０	０．０

（４）健康相談（個別）

健康診断の結果を踏まえ、保健師、管理栄養士の専門職が受診者の健康に関する悩みに個別の健康相談事業を行った。

健康相談の区分	当年度	前年度	前年度比％
人間ドックにおける健康相談	３，０２１	３，０３９	９９．４
事業所などの定期健康診断、新潟市特定健診、労災２次健診における健康相談他	１，０６６	９２２	１１５．６
メンタルヘルス相談（産業カウンセラー対応）	６０	４５	１３３．３
健康げんき倶楽部における健康相談	１１８	８６	１３７．２

（５）健康教育（集団）

令和７年３月に新潟日報メディアシップの日報ホールにおいて、第２０回市民健康講座を開催した。また、メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施した。

ア 第20回市民健康講座の開催

① 日 時 令和7年3月1日（土）

② 内 容

講演1 「賢く健診！早期発見・早期治療」

内山 聖 医師（当財団会長）

講演2 「大腸がんのいま～診断から治療まで～」

丸山 聡 医師

（新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科部長）

③ 参加者 134名

イ「心とからだの健康づくりセミナー」の開催

メディアシップ健康げんき倶楽部において実施している「心とからだの健康づくりセミナー」は、前年度と同程度の日数を設定し、受講者数は増加した。

健康教育（集団）の区分	当年度	前年度	前年度比%
市民健康講座	134	103	130.1
健康づくりセミナー	121	115	105.2

ウ 関係機関が主催する各種健康づくり活動への参加

長岡すこやかともしびまつり 2024 令和6年9月14日（土）

（6）予防接種

大規模事業所や学校などを対象にした集団のインフルエンザ予防接種は前年度を下回り、5,772件で前年度比92.9%であった。また、感染症予防の一環としての医療従事者や医療系学生を対象としたB型肝炎等の予防接種は、接種対象の学科が増えた大学や新潟市消防局の受託により接種者数は増加した。

予防接種	当年度	前年度	前年度比%
インフルエンザ	5,772	6,216	92.9
B型肝炎・その他のワクチン	1,888	889	212.4

(7) その他の支援活動

ア 身体障害者への受診対応

リフト装置付胸部検診車を配備し、福祉介護施設の入所者などに対する受け入れ体制を整え、受診機会を損ねることのないよう努めている。

イ 安定ヨウ素剤の事前配布に係る健康状態確認業務

新潟県より国の原子力災害対策指針に基づき、UPZ（原発から概ね半径5 Km～30 Km圏）内の住民への安定ヨウ素剤の事前配布に係る健康状態確認等の業務委託を受けて、14,627件実施した。

第4 その他関連事業

(1) 関連機関への参加協力

ア 結核予防会及び予防医学事業中央会への加盟

それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部としての活動を推進してきた。

① 第76回結核予防全国大会参加

令和7年2月4日～5日

岩手県

② 第69回全国予防医学事業推進全国大会参加

令和6年11月21日～22日

島根県

③ 第58回全国予防医学技術研究会参加

令和7年2月20日～21日

京都府

この研究会において、次の研究発表を行った。

- 「視機能評価機アイモ Scan による視野スクリーニングの有用性について」

生理検査課

伊藤 果穂

- 「巡回健診における通信環境と各通信キャリアの検討」

情報システム室

上原 聡子

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力

新潟県健康づくり財団が事務局を担当している協議会の会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力した。

(2) 専門委員会等の開催

検診検査業務の精度の向上を図ると共に事業を円滑に実施するため、新潟大学や医師会等と連携し専門委員会を下記のとおり開催した。

ア	肺がん検診専門委員会(隔月開催)	令和6年度	メール連絡
イ	母子関係事業懇談会	令和7年2月13日	
ウ	胸部検診読影委員会	村上地区	令和7年2月28日
		新発田地区	令和6年度開催なし
		三条地区	令和7年3月8日
エ	胃がん検診検討委員会	三条地区	令和6年度開催なし
オ	新潟市読影医師研修会	令和7年2月15日	
カ	子宮がん検診委員会	令和7年3月24日	

(3) 結核予防複十字シール募金運動

結核予防会本部が全国運動として展開している複十字シール募金を本年度も、保健所、新潟県食生活改善推進委員協議会等の協力を得て行った。

令和6年度 募金額 2,002,085 円 (目標額 1,800,000 円)

3 施設設備の整備

令和6年度における主な設備投資は、次のとおりである。

(1) X線検診車

ア	乳がん検診車(撮影装置1基搭載) さくら号 リボン号の老朽化に伴う更新 (令和5年度からの継続事業) キヤノンメディカルシステムズ(株)	56,045,000 円
イ	胸部検診車(D-2号) コンソール交換	850,000 円
ウ	胸部検診車(D-2号) 管球交換	2,472,800 円
エ	胃がん検診車(E-57号) エアコン入替	792,000 円

オ 胃部検診車 (E-58 号)

E-53 号の老朽化に伴い JKA の補助金を活用して更新

富士フイルムヘルスケア (株) 59,884,000 円

(内 27,000,000 円は JKA の補助金を充当)

小計 120,043,800 円

(内補助金 27,000,000 円)

(2) 医療機器・備品

ア 読影用 3M カラーモニター 2 面 (RX370)、P C 1 台 1,507,000 円

イ システム顕微鏡 BX43SP-8 (株) エビデント社製 849,574 円

ウ 超音波診断装置 ARIETTA650 3,575,000 円

エ 高圧蒸気滅菌機 532,400 円

オ デュプロ メールシーラー EX-4100W 1,931,600 円

カ 卓上遠心機 S500T 522,478 円

キ ニッケル水素蓄電池 (D-10 号) 4,400,000 円

ク 内視鏡検査閲覧用 PC 297,000 円

小計 13,615,052 円

(3) 建物附属設備

ア 成人病検診センター 受水槽及び高置水槽の入替工事 10,120,000 円

イ 本館 自動火災報知設備増設工事 396,000 円

ウ 本館・分館 監視カメラシステム 1,932,700 円

小計 12,448,700 円

(4) 車両運搬具

ア 一般車両のメンテナンスカーリース 4台	
リース資産の取得（令和6年度の新規台数）	12,942,600 円
（内 年間の短期リース代金	2,137,520 円）
	小計 12,942,600 円

(1) + (2) + (3) + (4)

総 額 159,050,152 円

(内補助金 27,000,000 円)

(5) 設備投資に伴う長期借入金の償還

ア 胸部レントゲン車 D-7、D-8 号購入用長期借入金	
① 借入先	第四北越銀行県庁支店
② 当年度中の償還金	10,857,000 円
③ 長期借入金残高	0 円（令和7年3月31日現在）
イ TAK 基幹システム入替用長期借入金	
① 借入先	第四北越銀行県庁支店
② 当年度中の償還額	15,340,000 円
③ 長期借入金残高	56,680,000 円（令和7年3月31日現在）

4 法人運営の状況

(1) 主な会議の開催状況

定款の規定に基づき、理事会及び評議員会を次のとおり開催し必要事項を審議した。

ア 理事会	
① 第25回定時理事会	令和6年 5月31日（金）本館4階会議室
② 第21回臨時理事会	令和6年 6月19日（水）本館4階会議室
③ 第22回臨時理事会	令和6年11月20日（水）本館4階会議室
④ 第26回定時理事会	令和7年 3月25日（火）本館4階会議室

イ 評議員会

① 第13回定時評議員会 令和6年 6月19日（水）本館4階会議室

（2）監査報告

令和7年5月14日（水）に行われた監事監査の結果、令和6年度の事業報告及び決算について、適正の報告があった。

令和6年度 検査・健（検）診・健康づくり支援 事業状況

事業区分			令和5年度	令和6年度3月			前年度比較	
			(A)実施数	(B)計画数	(C)実施数	C/B (%)	C/A (%)	
検査事業	母子保健	先天性代謝異常検査		12,020	11,800	11,091	94.0	92.3
		付加新生児スクリーニング		8,891	10,000	8,818	88.2	99.2
	学校保健	尿検査		145,143	143,000	143,138	100.1	98.6
		(再掲)	1次検査	130,713		128,367		
			2次検査	3,864		4,183		
			腎精検	260		314		
			糖精検	32		22		
			大学	10,274		10,252		
		貧血検査（小児生活習慣病含）		7,521	7,400	6,258	84.6	83.2
	感染症	腸内細菌検査		31,495	32,000	30,707	96.0	97.5
		食品検査		552	550	535	97.3	96.9
		Q F T検査		673	1,000	819	81.9	121.7
		HPV検査		38	90	61	67.8	160.5
		抗体価検査		6,027	5,500	7,057	128.3	117.1
	受託	血液（新潟市医師会）		74		0		
		病理（開業医・他健診機関）		3,317	3,200	3,182	99.4	95.9
健診事業	学校保健	結核検診（高1年生・大・専門学生）		31,387	31,000	31,277	100.9	99.6
		心臓検診（小・中・高生）		34,387	34,000	33,585	98.8	97.7
		学生健診（内科含む高・大・専門学生）		11,435	11,000	11,784	107.1	103.1
	地域検診（巡回健診）	特定健診		32,721	31,700	32,520	102.6	99.4
		(再掲)	全部委託	30,142		29,890		
			一部委託	2,579		2,630		
		肝炎	特定・単独	1,594	1,500	1,338	89.2	83.9
		前立腺がん	特定・単独	4,316	4,200	4,332	103.1	100.4
		糖負荷試験		115	100	49	49.0	42.6
		胸部検診	結核検診	93,839	94,500	96,095	101.7	102.4
			肺がん検診	117,036	117,000	117,183	100.2	100.1
			喀痰細胞診	1,004	1,100	981	89.2	97.7
		胃がん検診		13,848	13,500	13,703	101.5	99.0
		大腸がん検診		31,085	30,500	31,542	103.4	101.5
		乳がん検診		17,712	17,500	15,585	89.1	88.0
		(再掲)	マンモグラフィ1方向撮影	15,137		13,298		
			マンモグラフィ2方向撮影	2,575		2,287		
		子宮頸がん検診		11,980	12,000	10,368	86.4	86.5
		骨粗しょう症検診		964	1,000	854	85.4	88.6

事業区分				令和5年度	令和6年度3月			前年度比較
				(A)実施数	(B)計画数	(C)実施数	C/B (%)	C/A (%)
健 診 事 業	職 域 検 診	巡 回	一般健康診断（巡回健診）	16,065	20,000	21,458	107.3	133.6
			その他の健診・検査	3,966	12,000	4,759	39.7	120.0
		施 設	ホール健診	14,885	15,500	15,467	99.8	103.9
			人間ドック	3,039	3,200	3,021	94.4	99.4
		各 種 検 査 ・ が ん 検 診	特殊健診	2,656	2,500	3,068	122.7	115.5
			胸部検診	38,546	35,000	41,095	117.4	106.6
			喀痰細胞診	582	600	413	68.8	71.0
			胃がん検診	12,510	12,500	13,592	108.7	108.6
			大腸がん検診	13,881	14,000	14,096	100.7	101.5
			乳がん検診	4,156	4,100	4,167	101.6	100.3
			子宮がん検診	4,589	5,000	4,583	91.7	99.9
			前立腺がん検診	1,519	1,500	1,694	112.9	111.5
			骨粗しょう検診	196	200	345	172.5	176.0
健 康 支 援	感 染 予 防	予防接種		7,105	7,500	7,660	102.1	107.8
		（ 再 掲 ）	インフルエンザワクチン接種	6,216	6,500	5,772	88.8	92.9
			B型肝炎他	889	1,000	1,888	188.8	212.4
		新型コロナワクチン		2,779		0		
総 計				745,648	748,740	748,280	99.9	100.4

事業区分			令和5年度	令和6年度3月			前年度比較
			(A)実施数	(B)計画数	(C)実施数	C/B (%)	C/A (%)
健康支援	特定 指導 保健	住民健診	145	180	191	106	131.7
		職域健診	222	200	247	124	111.3
		健康げんぎ倶楽部	17	15	8	53	47.1
	チス エッ クス	ストレス検査	6,267	6,500	6,695	103	106.8
		医師面接指導	18	15	16	107	88.9
		メンタルヘルス相談	0	5	0	0	0.0
	生活 予防 習慣	糖尿病予防事業	133	130	129	99	97.0
		喫煙予防事業	0	0	0	0	0.0
	健康 相談	人間ドック健康相談	3,039	3,200	3,021	94	99.4
		定期健康診断・労災2次・ 新潟市特定における健康相談	922	500	1,066	213	115.6
		健康げんぎ倶楽部健康相談	86	80	118	148	137.2
		産業カウンセラーによる カウンセリング	45	30	60	200	133.3
	健康 教育	市民健康講座	103	150	134	89	130.1
		健康げんぎ倶楽部 健康づくりセミナー	115	100	121	121	105.2
		連携講座	46	50	31	62	67.4
		講師派遣	102	100	118	118	115.7
総 計			11,260	11,255	11,955	106.2	106.2